

県内総合

天の川の謎学ぶ

つくば七夕講演に家族連れ

七夕をきっかけに宇宙研究に対する理解を深めてもらおうと、七夕講演会が6日、つくば市吾妻2丁目のつくばエキスポセンターで開かれ、子どもたちが彗星と織姫星の位置や宇宙の謎を学んだ。

講演会は、高エネルギー加速器研究機構の郡和範さんと田島治さんが講師を務め、来場した家族連れなど約50人が参加した。

「天の川はどうかやってつくられたの？」をテーマに講演した郡さんは、彗星（わし座のアルタイル）と織姫星（こと座のベガ）の伝説について説明。「働かない2人に怒った神

さまが、天の川の対岸に2人を引き離し、1年に1度しか会えないようにした。七夕伝説は『真面目に働きましよう』という教訓』と述べた。

郡さんは「アルタイルとベガの距離は約14・5光年。実は1年に1回会うことはできない」と科学者らしい解説で会場を沸かせた。

また、宇宙が一瞬の膨張で誕生したとするインフレーション理論について「直径1センチのビー玉があつという間に銀河の大きさになるようなもの」と紹介すると、会場からは「えー！ そんなに大きくないの？」と驚きの声

が上がっていた。

田島さんは、チリの高山地帯にある大型の電波望遠鏡について説明。肉眼では見えない宇宙からの光を観測する苦労や喜びについて語った。

（大平賢二）



星の位置や宇宙に関するクイズも出された「七夕講演会」=つくば市吾妻

圏央道交通量1.3倍

千葉延伸で
阿見東―稲敷

国土交通省と東日本高速道路は7日まで、4月12日に開通した首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の稲敷インターチェンジ（IC）

IC―稲敷IC間の交通量が開通前と比べ1・3倍に増えたと発表した。延伸効果が表れた形だ。

発表によると、阿見

―神崎IC（千葉県間、10・6キロ）の開通1カ月の交通状況を調査した結果、既存の阿見東

前6300台から8潮来―銚田間の早期開通訴える
期成同盟会が総会

2000台に増えた。また、稲敷IC―稲敷東IC間の1日平均の交通量は4100台、稲敷東IC―神崎IC間

RETF活用見直しへ

鹿行地域の5市でつくる東関東自動車道水戸線潮来―銚田間建設促進期成同盟会（会長・松田千春潮来市長）の通常総会が7日、行

安全・迅速・信用――
グリーン交通グループ
女性ドライバー2種養成コース歓迎
待遇／各社会保険完備・労災雇用保完
水戸市桜川一―五―二五
TEL029（二八）三三三三（代）

男・女
随時募集
乗務員

地域総合

ペナントでJ2水戸応援

サッカーJ2・水戸ホリリーホックスの応援ムードを盛り上げようと、応援ペナントが水戸市下市地区の本町1、2丁目商店街「ハミングロード513」の時計塔や街路灯などに飾られ、お披露目が7日、同商店街で開かれた。

応援ペナントは、ほかのホームタウンを参考に、同商店街振興組合が企画。時計塔に縦3段2段、横6段の大ペナントを掲げ、街路灯55カ所に

ペナント片面には水戸のマスケットキャクタリーやエンブレムが描かれ、もう片面には同商店街をアピールするため下市名物のだるま市にちなんだダルマの絵や「下市人情本町」との言葉が盛り込まれた。監督や選手のサインも入っている。

お披露目会で、同組合の大矢晋一代表理事や水戸の沼田邦郎社長、高橋

水戸・下市地区の商店街

靖市長らがペナントの除幕を行い、太鼓に合わせ、水戸のコールも響かせた。

大矢代表理事 展開にも力を呼び込みにつ



スポーツ鬼ごっこ体験

常陸大宮 児童らチーム戦に汗



タッチをかわしながら相手の宝を目指す
スポーツ鬼ごっこ=常陸大宮市工業団地

鬼ごっこにスポーツ

としてのルールや戦術を加えた「スポーツ鬼ごっこ」の体験会が6月28日、常陸大宮市工業団地の市西部総合運動公園体育館で開かれた。小学生から50代の男女21人が参加、普通の鬼ごっことは違うチーム戦の鬼ごっこに汗を流した。鬼ごっこ協会県支部主催。

スポーツ鬼ごっこは1チーム7人が敵味方

に分かれ、自陣の宝を守りながら相手陣地の宝を多く獲得したチームが勝ちとなる競技。1試合10分で攻撃役や守備役などを効果的に連携させるため、メンバー同士で戦術を練ることも重要。城西国際大の羽崎泰男教授らが子どもの運動不足解消、肥満防止にと2010年から本格的に普及活動を始めた。

現在、県内では小学校の親子レクリエーションやスポーツ少年団を中心に活動のすべが広がっている。支部長の桐原繁さん(44)は「遊び感覚から本格的競技レ、楽しめ張り切参加を学んに分かつ挑戦し員のアド見ながらり味方になつ内をめぐり宝加した6年の(12)はが逃げたりと顔を